

平成31年度特許情報等分析活用支援事業  
特許情報分析報告書 (③審査請求段階)

出願番号	-	※もしくは貴社整理番号、弊社受付番号など
公開番号	-	
発明の名称	微粉末水溶性樹脂	
調査年月日	2019年4月2日	
対象資料	公開特許公報、(公開実用新案公報、登録実用新案公報)	
調査対象期間	特許：平成1年1月1日～平成28年4月2日 / 実用新案：	
調査観点	1. セルロース系材料を用いた微粉末状物の製法で、乾燥工程を低温⇒高温の2段階 2. 上記1の微粉末状物が、マイクロカプセルであるもの ※もしくは出願明細書中の対象請求項 例：請求項1～4	
検索式	[A]JP-NET FI・Fターム検索による抽出公報の閲覧：①+②+③ (P=120、U=12) ①Fターム：4G075([AA02+AA22+AA32+AA33+AA34+AA35])*[BB02+EA05+EA06+EA07]*BD26 ②Fターム：4G005(AA38+\$DA21+DA43+DC08)*AA13 ※各検索ツールにおける検索式と、閲覧件数を記載 ③Fターム：4F201([AK01+AK04+AK07+AK08])*[BN01+BN21]*[AP14+AR14] ※調査範囲は、技術の内容、検索ツール、使用の分類やキーワードにより適宜選択 [B]PatentSQUARE検索による抽出公報の閲覧：④*⑤+⑤*⑥ (P=52、U=20) ※主な使用データベース ④FI：(B01D1/22?) JP-NET ⑤ル-ムKW：セルロース+水溶性樹脂+水溶性高分子+水溶性ポリマ PatentSQUARE ⑥ル-ムKW：マイクロカプセル+微小カプセル+内包 ※新規性を観点とし、閲覧状況により不足部分を	

調査結果	No.	公開番号	発明の名称	概要	関連する観点	評価
	1	特開2005-xxxxxx	水溶性樹脂粉体	CMCを含有した粉体に関し、スプレー噴射により形成した粉体を予備加熱後、乾燥する技術が開示。 【0000】「…水溶液はCMCと△△△を含有し……。…さらに、スプレー噴射を使用して微粒子を形成してもよい。微粉末中のCMCの含有量は ？重量%以下である…」 【00**】「……。形成された微粒子は、予め予備加熱された第一乾燥槽で、 分加熱し、その後**Cに加熱された第二乾燥槽に吹き込まれる。……」	1	○
	2	特開2003-xxxxxx	マイクロカプセル	内部に油性組成物を含有したマイクロカプセルに関し、カプセルの材料として、HPMCなどの水溶性樹脂が列挙。 【00**】「***とカプセル材を混合したエマルジョンを乾燥させ、マイクロカプセルを形成する。」 【00**】【00**】をご参照下さい。  但し、カプセルの加熱を2段階とする記載はありません。	2	△
	3	特開平11-xxxxxx	……………	※調査観点に該当する記載を抜粋。 相違点があれば、その箇所と観点を記入する	2	▲
	4	特開2001-*****	……………	……………	1	▲
※報告書には、抽出公報を添付、 公報中、該当箇所にアンダーラ						

評価記号の説明： ○…開示有り △…類似技術の開示有り ▲…参考程度